

自発性の発達の観点から

- ◆同世代の友達との「遊び」を通して、自分から進んで行動しようとする気持ちや態度（自発性）がはぐくまれていきます。
- ◆子どもたちは「遊び」を通して、自分のところを表現し、気持ちや行動をコントロールする力をはぐくみます。
- ◆「遊び」は、子どもたちの生きる力を育てる基盤となります。

社会性の発達の観点から

- ◆学校生活において、自分がやってみたいことや、やらなければならないことに対して、一生懸命努力を積み上げる姿勢を養う大切な時期です。
- ◆一方で、努力してもうまくいかない経験によって劣等感を抱きやすい時期でもあります。
- ◆「自分はできるんだ」という成功体験の積み重ねが大切です。そのために、家庭においても、大人が子どもの姿を見て、しっかりと認め、励まし、ほめることが重要です。

NO Drug

大人が守ろう 違法薬物から子どもたちを



～子どもに薬物を乱用させないために～

- 子どもとのコミュニケーションを活発にする。
- 子どものよいところを積極的に見つけて伝える。
- スマホやパソコンを使用する際のルールを保護者と子どもでつくる。
- 保護者自身が勉強して薬物に対する正しい知識を持つ。
- 悪い誘いには勇気をもって断ることを日常から伝える。
- 困ったことがあれば、保護者に相談するように日常から伝える。

引用・参考文献：「NO Drug ～大人が守ろう 違法薬物から子どもたちを～」(京都府教育委員会)

京都府家庭支援センター

相談内容 少年非行、ひきこもり、児童虐待、配偶者からの暴力(DV)、知的・身体障害など様々な悩みごと

相談方法 下記の相談機関で、電話や面接による相談ができます。

京都府家庭支援総合センター

総合相談 075-531-9600 DV相談専用電話 075-531-9910

こども虐待専用電話 075-531-9900 ひきこもり相談・チーム絆専用電話 075-531-5255

ひきこもりインターネット相談 <http://www.kyoto-hikikomori-net.jp/>

京都府南部家庭支援センター(宇治児童相談所)

総合相談 0774-44-3340 DV相談専用電話 0774-43-9911

宇治児童相談所京田辺支所 0774-68-5520

京都府北部家庭支援センター(福知山児童相談所)

総合相談 0773-22-3623 DV相談専用電話 0773-22-9911

京都府総合教育センター・京都府総合教育センター北部研修所

相談内容 不登校やいじめなど学校教育に関すること、発達に関すること、子育て・しつけなど家庭教育に関すること

相談方法 24時間電話教育相談 ふれあい・すこやかテレフォン

075-612-3268または3301 0773-43-0390

メール教育相談(携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください)

<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm> ⇨

あるいは、で検索してください。



来所教育相談

京都府総合教育センターまたは京都府総合教育センター北部研修所まで直接来所いただいて相談できます。くわしいことは電話でお問い合わせください。(ふれあい・すこやかテレフォンへ)

巡回教育相談

お住まいの近くの教育局などにカウンセラーが出向きます。月に1~2回、決まった曜日・時間の相談となります。くわしいことは電話でお問い合わせください。(ふれあい・すこやかテレフォンへ)

体罰専用相談電話

開設時間 毎週水曜日11:30~18:30 075-612-5013

京都府精神保健福祉総合センター

相談内容 こころの健康に関すること

相談方法 下記の相談窓口で、電話や面接による相談ができます。

こころの健康相談電話

京都市内を除く京都府域にお住まいの方 075-645-5155(月~金 祝日・年末年始除く 9時~12時、13時~16時)

※京都市内にお住まいの方は [京都市こころの健康増進センター](#)へ 075-314-0874(月~金 祝日・年末年始除く 9時~12時、13時~16時)

少年サポートセンター(京都府警察本部少年課)

相談内容 非行問題や犯罪被害等に関すること

相談方法 電話相談 ヤングテレホン

075-551-7500(24時間受付)

メール相談

パソコンから <http://www.pref.kyoto.jp/fukei/>

携帯から <http://www.kyotofukei-syonen.jp/i>

京都府教育庁指導部社会教育課 TEL.075-414-5886 平成29年3月発行

この資料は京都府家庭教育支援協議会のご協力で作成しました。

親の学び

一人で悩まないで

～子育てのヒント!みんなでいっしょに考えよう～

小学校中学年用



京都府教育委員会では、子育て中の保護者のみなさまを支援する取組として家庭教育資料を作成しています。子育ての正解は一つではないので、みんなが迷ったり、困ったりしながら子育てをしています。みんなで子育てについて考える「きっかけ」としてこの資料を活用していただけたらと考えています。



京都府教育委員会

家庭教育資料

小学校中学年の特徴

このページでは、小学校中学年の特徴について記載しています。子育てを行う際のヒントになると思いますのでご活用ください。

知的能力の発達の観点から

- ◆自分の視点や経験を中心に考えるのではなく、様々な意見を取り入れながら物事を考えることができるようになります。
- ◆友達と関わる中で、相手が自分をどのように見ているかという意識も生まれ、同時に、自分とは異なる価値観があることを理解し始めます。
- ◆自分のことばや行動、考えや気持ちを振り返ることができるようになります。



関係性の発達の観点から

- ◆同世代の友達関係が強くなります。大人との関係より、友達関係を優先し、その中で、ルールを守ることや互いに協力することを学びます。
- ◆「親友」ができ始め、友達との秘密を大事にしたり、同じキャラクターのものを持ったりするなど、「友達と似ている」という安心感を求めます。

引用・参考文献：「学校不適応の未然防止のために
～小学校3・4年生(前思春期)という時期とは～」(京都府教育委員会)